



市民活動・ボランティア活動情報誌

2019年12月13日

No.194

福祉よこはま

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会



「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています

特集

一人ひとりの笑顔のために 私らしい寄付のカタチ

「あしおとでつながろう!プロジェクト」の
主宰者おどるなつこさんと
参加するはるかちゃん
(10月22日撮影:あーすぷらざ)
→詳しくは特集で

もくじ

★ 福祉の仕事: 福祉に携わる人材を育てる P4

★ レットライボランティア: よこはまシニアボランティアポイント
～イキイキ活動、寄付にもつながる～ P5

★ 市社協情報: 令和2年1月30日(木) よこはま地域福祉フォーラム開催 P6

ここから最新号と
バックナンバーを
ご覧になれます

福祉よこはま 検索



みなさんからの
ご寄付

福祉活動団体の
助成金に

一人ひとりが
もっと笑顔に!

12月は寄付

横浜市社会福祉協議会では「福祉のために使ってほしい」と寄せられたご寄付を、「よこはまふれあい助成金」として誰かを笑顔にするための活動に届けています。

どんな笑顔につながっているのか、助成団体の一つ「あしおとでつながろう! プロジェクト」をご紹介します。

あしおとでつながろう! プロジェクト

(令和元年度 よこはまふれあい助成金配分団体)

障害のあるなしに関わらず、様々な人が輪になって踊るタップセッション” おどりの輪”を通してそれぞれの違いを楽しみ尊重し合う社会をイメージするプロジェクトです。

詳細はこちら



一人ひとり 笑顔のため 私らしい寄付

社会貢献には様々なカタチ
その一つが
自分らしい寄付を

主宰者のおどるなつこさんから寄付者の方へ

「あらゆる人が楽しく暮らしていく方法の一つを見つけたかもしれない!」という気づきがあり、2010年から福祉施設内で毎月100名と行ってきたボランティア活動を社会に開こうと思いました。

この助成金により、南区と栄区の公共施設で毎月開催することができ、近隣の小学生など様々な人が参加されるようになりました。**障害がある人の社会体験を積み重ねながら、アートを通して一人ひとりの違いを認めあう体験の場を、多くの市民、特に子どもたちと行うことができています。**

様々な反響からも、この積み重ねが、**心のバリアをとりはらい豊かな社会につながると感じています。**



▲自分らしい表現にトライできる体験の場となっています



▲親子で参加している
上野さんと娘のはるかちゃん

こんなことも! 多様な寄付のカタチ

ヘアドネーション!

ヘア=髪の毛・ドネーション=寄付です。寄付された髪の毛は医療用ウィッグとして生まれ変わり、小児がんなどで髪の毛を失った子ども達のために無償で提供されます。



古本を寄付!

読み終わった古本を業者が査定し、買い取り金額を寄付する取組です。



食材の寄付!

地元で行われている子ども食堂や地域食堂へ、必要な食材を寄付すれば、自分のまちに笑顔がふえます。



例えばこんな寄付先が…。

特定非営利活動法人 国際連合世界食糧計画WFP協会

国連WFPは、飢餓をゼロにすることを使命とする国連唯一の食料支援機関です。

毎年約80カ国で、女性や子どもなど9,000万人に食料支援を行っています。

教育の機会を広げる「学校給食支援」

栄養価の高い学校給食を提供し、将来を担う子どもを栄養不良から守るとともに、学校に通うきっかけを提供します。

緊急事態に命を守る「緊急食料支援」

紛争や自然災害などの緊急事態で深刻な食料不足に直面した人びとに、食料を届けます。

月間です!

の に のカタチ

があるのをご存知ですか?
寄付です。
探してみましょう!

自分らしく いられる場所です

「あしおとでつながろう!プロジェクト」に娘と参加して2年になります。
インターネットでプロジェクトを知り、緊張しながらタップダンスを体験
してみたら…主宰者のおどるなつこさんがありのままの娘を迎えてくれ、
すんなりと輪に入れています。

私にも友人のように接してくれるメンバーと、楽しさを共有できるタップ
セッションは、こころの垣根が取り払われ、自分らしくいられます。



※寄付月間(Giving December)は、寄付
が人々の幸せを生み出す社会をつくる
ための全国的なキャンペーンです。

「よこはまふれあい助成金」って?

横浜では市民による様々な福祉活動が一人ひとりの暮らしを支えています。
みなさんからのご寄付をもとに市内2,000以上のボランティア・障害当事者
団体の活動を応援しています。



横浜市社協に 寄付と遺贈の相談窓口が できました

「寄付で地域に恩返しをしたい」「信頼
できる所に寄付したい」といった、様々な
相談を受けとめ、情報提供を行う相談窓口
を新たに設置しました。

笑顔が見える 寄付始めます!



「何に使われるか分かりにくい」そんな
声を受け、横浜市社協の事業を指定して
寄付を募集する取り組みを試行実施
します。その名も「**見え寄付**」。

希望の方には募集開始をご連絡いた
します。
「見え寄付希望」と書いてEメールで
お送りください。
→ yvc@yokohamashakyo.jp



詳細はこちら ➡

あなたが笑顔にしたいのは誰ですか?



©WFP/Ratanak Leng

お問い合わせ・ご寄付
国連WFP 0120-496-819(通話料無料)
〈受付時間〉9:00~18:00(年中無休)

詳細はこちら ➡



公益財団法人 横浜市緑の協会

アニマルペアレント

動物たちへの愛着と動物園への理解を
深めていただくとともに、よこはま動物園
ズーラシア・野毛山動物園・金沢動物園の
動物たちが今よりもっと豊かな生活が送る
ことができるように、皆様からのご支援を
募る制度です。(1口5,000円)

お寄せいただいた支援金は、動物の特別
なエサや遊具、展示場改善などに役立て
られています。

お問い合わせ
各園窓口又は
ホームページをご覧ください。



➡ 詳細はこちら



福祉に携わる人材を育てる

明治学院大学准教授として働く

さかきばら み き
榊原 美樹さん に聞きました

**福祉の仕事の魅力は、より良い方向に変えていくために創造的にチャレンジできること
その面白さを学生には知ってもらいたいです**

この仕事を選んだきっかけ

▶ 祖父母の介護などをきっかけに自治体の福祉サービスのあり方に興味を抱いたことが始まりです。その後大学では社会学を専攻しましたが、障害者の生活支援ボランティアなどを通じ、福祉が充実していない現状を目の当たりにする中で、やはり福祉に関わる仕事したいと考え大学院に進学しました。卒業後、研究員として調査分析の仕事や地方自治体の計画立案などに携わった後、大学教員となり、現在明治学院大学で7年目を迎えました。地域福祉やコミュニティワークを専門として研究・教育活動を行っています。

喜び・やりがい

▶ 私のゼミの学生の就職先は社会福祉法人など個別支援に関わる職場から社会福祉協議会、一般企業まで様々です。学年を重ねて自己覚知が進み偏見や先入観を持たずに人々や社会と向き合う姿勢が身についていく学生を目の当たりにできるのが教育に携わる者として一番嬉しいことです。OB会などで、卒業生が社会人として成長した姿を見せてくれることも大きな喜びです。

福祉職とは

▶ 福祉を学びたいという学生がよく「えらいね」と周囲から言われることがあります。多くの学生は違和感をもっています。人と関わること、その仕事に興味を抱き動きたいと選んでいることは、他の仕事と同じなのになぜえらいのか、と。一般的に福祉を人のお世話と捉えられている現状があるからです。

子どもが好きなある学生は、児童福祉施設の実習で甘えてくる子を可愛いと思った、と話しました。実習先の指導者や私たち教員は甘えるという行動・要求の背景に目を向けるのが福祉なのでは、と問いかけます。福祉＝お世話をするだけでなく、言葉一つや接し方がその人の将来に影響を与える仕事です。「やってあげる」ではなく、その人らしくいられることを手伝うことが福祉、という捉え方をしてくれたらと思います。

社会に出る学生への期待

▶ 福祉の仕事には意図的に人々や地域に関わっていく面があります。学生が「こうあるべき」と考えることは狭い経験からくる価値観に基づく場合が少なくありません。人それぞれに価値観が異なることを知り、幅広く物事を見る視点を持っていてもらいたいと思っています。課題を抱えた一人ひとりと向き合い関わることに加え、その背景にある社会のあり方に関心を抱くことで、新しい仕組みや制度を創りだすことにもチャレンジをしていてもらいたいです。

福祉を学ぶ人へ

▶ 私は福祉を「人々がどうすることもできないと思っていることに、こうなったらいいね、こうしたらどうだろう、と実践し、創造的に変えていく力のあるもの」と考えています。様々な人と関わり、様々な視点で社会のあり方を見つめ、より良く変えていく、新しいものを創っていく。そこに福祉の仕事の魅力があると思います。

榊原先生のプロフィール

愛知県生まれ。名古屋大学文学部卒業。日本福祉大学大学院社会福祉学研究科に進学、2006年、同研究科社会福祉学専攻課程を修了。博士（社会福祉学）取得。日本福祉大学等の非常勤講師、地方自治体の非常勤嘱託員として勤務する傍ら、日本福祉大学通信制大学でソーシャルワークを学び、社会福祉士資格を取得。2013年、明治学院大学社会学部専任講師として着任。2018年4月より社会学部社会福祉学科准教授。

明治学院大学社会福祉学科

- 配置人数(2019年10月現在)
教員19人、実習センター3人、研究所スタッフ等



▲ゼミでは学生たちの成長を間近で感じとれます

榊原准教授のある一日 水曜日/白金キャンパス

- 1限 ソーシャルワーク 3A
(地域の見方や地域への働きかけの方法に関する授業)
- 2限 4年生ゼミ(卒業論文指導)
- 昼休み
- 午後 卒業論文個別指導
- 夕方 授業資料作成など授業の準備等
- 夜 大学院授業

◆ この記事に関するお問合せは
横浜市社会福祉協議会 企画部企画課 ☎ 201-2090

横浜市内の
福祉人材に
関する
求人情報 ➡



ウェルじゃん
求人情報



横浜市
介護人材情報

Let's try
ボランティア



よこはま シニアボランティアポイント ～イキイキ活動、寄付にもつながる～

活動したら
タッチでピッ!



▲いきいき案内人の
けんこうぼうし君

ボランティア活動をするとポイントがたまり、「日々の生活に張りができた」「ボランティア仲間が増えた」「役に立った実感を得られた」など、活動者本人にとってもいいことが多い『よこはまシニアボランティアポイント』をご存知ですか? 事業が始まってから10年。登録してイキイキと活動しているボランティアの方をご紹介します。



▲利用者さんに朝の挨拶をする安部さん

麦田地域ケアプラザ(中区)でボランティアをしている 安部さんにお話を伺いました!

「おはようございます!」と、元気な声で挨拶しながらデイサービスの利用者さんに声をかけていく安部さん。昨年5月に登録研修会に参加し、ボランティア登録をしました。

「それまでは、ボランティアを意識して考えたことはなかったし、自分に何ができるか不安ばかりだったが、経験を活かしてやりやすいことからやってみよう」と地域ケアプラザのデイサービスでボランティア活動を始めたそうです。

オセロや将棋、囲碁などのレクリエーションや、お話し相手の活動を何回か重ねるうち、利用者さんから「いつもありがとうね」と声をかけられるようになり、活動できない日があると「先週は来なかったね」と気にかけていただくこともあるそうです。また、元気な安部さんとのコミュニケーションで、利用者さんは「エネルギーをもらっている」とも感じているそうです。

ボランティアをすることで人と人とのつながりができるのは「最高のこと」で、家にいたら得られないし、自分が良いと思わないと長く続けられない。ボランティアポイントはたまたま付いてくるもの。これからもボランティア活動や地域活動に参加して、地域の方たちと相互交流の機会を増やしていきたいです。



よこはまシニアボランティアポイントのしくみ

1

研修会に参加後、登録するとポイントカードを取得

2

ポイントをとめると
1日30分以上の活動で200ポイント付与(※1)

3

1,000ポイント以上で、年間8,000ポイントまで換金・寄付ができます(※2)

※1 … 1日に2回以上活動しても付与されるのは200ポイントまで。

※2 … 換金は1ポイント=1円。1年間の合計が1,000ポイント未満の場合は換金せず、翌年に繰り越し。

ぼうし君
登録して活動するよこは
まはどうしたらいいの?



65歳以上の横浜市民の方なら、
研修会を受ければ登録できるよ!
ホームページの研修日程をチェックしてね。

登録すると、事務局から
受入施設や団体の情報をもらえるので、
興味のある活動を選んでね

よこはまシニアボランティアポイント事務局の
ホームページはこちら



活動後、ポイントカードをリーダーにタッチするとポイントが付与されます。

ポイントが寄付にもつながる

たまったポイントは換金できるほか、横浜市が運営する基金や各団体へ寄付することができます。また、一定以上のポイント獲得者には、事業を応援してくださる企業等からの特典が提供されます(特典は申込み制、応募多数の場合は抽選)。



横浜市ボランティアセンターより

市担当課に「登録者が活動を続けられる理由」を聞いたところ、活動者へのアンケートでは「週1回程度」の活動をしている方が多く、「自分の生活の中でできる範囲での活動」が長く続けられている理由のようです、とのことでした。ポイントがモチベーションにもなっているようですが、それ以上に「役に立った実感」や「仲間など地域とのつながり」が、ボランティア活動の原動力となっているようです。

〈よこはまシニアボランティアポイント事業についての問合せ〉
市健康福祉局介護保険課 ☎671-4252

ボランティアに関するお問い合わせ、ご相談は
横浜市ボラセンまたは各区ボラセンへ

問
合
せ

横浜市ボランティアセンター
☎201-8620

ホームページはこちら ➡



各区
ボランティアセンター

ホームページはこちら ➡



第5回

よこはま地域福祉フォーラム 開催します!

今年は子どもを地域で育み支える現場からの基調講演と、横浜らしい住民同士の支えあい活動の中から、「おたがいさま」で支えあう地域づくり、「困りごと」を協力して支える取組、社会福祉法人・施設の地域貢献活動など、事例を分科会で共有しさらなる活動の活性化を目指し開催します。

日時 令和2年1月30日(木) 10:15 ~ 15:30 (予定)

会場 関内ホール (中区住吉町4-42-1)

内容 (基調講演) 「ひとりぼっちにしないまちづくり

～地域で育む、子どもたちに寄り添う～」

(講師) こどもソーシャルワークセンター 理事長 幸重 忠孝 氏

(分科会) 身近なまちで育まれる縁 など2分科会

基調講演▶
講師: 幸重 忠孝 氏



【申込み・問合せ】

横浜市社会福祉協議会
企画部 ☎ 201-2090

申し込みは
こちらから▶



賛助会員のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。令和元年7月21日～10月20日 新規受付・継続受付分

詳しくはホームページをご覧ください▶

【問合せ】 横浜市社会福祉協議会 総務部 総務課 ☎ 201-2096

個人会員

● 佐藤 邦彦 ● 坂田 謙太郎 順不同・敬称略



みんなのきもち あいがとう

みなさまから寄せられたご寄付は、市内の市民活動団体、障害児・者団体の支援のため、有効に活用させていただきます。

＼ご寄付いただきました(障害者年記念基金) / ふれあいチャリティーバザー 実行委員会

25年ほど前から活動が続ける「ふれあいチャリティーバザー実行委員会」様は、前会長ご自身に障害があり、まわりから助けてもらうことも多く、「自分も人のために何か役に立てないか」と思いバザーを始め、施設へ車いすなどをご寄付されていたそうです。横浜市社協へは、平成14年から継続してご寄付をいただいています。現会長の平綿さんは、お父様でもある前会長の意思を引き継ぎ、バザーの運営をされていて、年間複数回開催しているバザーの翌日には、毎回寄付金をお持ちくださっています。

寄付者の声

バザーは、いろいろな人が楽しく参加できるのがよく、ネットのフリーマーケットが便利な世の中で、来場者も実物を見てのやりとりが楽しいと言ってくれます。以前は大型連休の時などにイベントとして開催していましたが、現在は小規模でもできる限り続けていきたいと思っています。



◀ 大通公園で開催される
ふれあいチャリティー
バザー

横浜市ボランティアセンターでは、寄付のご相談をお受けしています。☎ 201-8620

寄付者のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。順不同・敬称略 令和元年7月1日～9月30日受付分

善意銀行 金銭寄付者

- 安藤 公雄
- ブックオフコーポレーション 株式会社 (3件)
- みらいチューブチャリティーライブ出演者
- ボニカロード
- 奏音
- リニア
- 富岡 大輝
- サファリパークDuo
- 横浜ヨコハマ
- 日ノ出サンデーズ
- よこはまシニアボランティアポイント登録者
- 吟楽会
- 匿名 (1件)

善意銀行 物品寄付者

- 横浜労働者福祉協議会
- 日本音楽文化交流協会 代表 及川光悦
- 横浜貨物総合 株式会社
- NPO法人 フードバンク横浜
- 株式会社 セブンイレブン・ジャパン
- 株式会社 シェルガーデン
- 株式会社 イトーヨーカ堂

- 株式会社 そごう・西武
- 株式会社 ヨークベニマル
- 株式会社 赤ちゃん本舗
- 株式会社 ヨークマート
- 株式会社 ダイイチ
- 株式会社 アインファーマシーズ
- 株式会社 天満屋ストア
- 長瀬 滋夫
- 公益財団法人 神奈川芸術文化財団

よこはま あいあい基金寄付者

- 宗教法人 世界平和統一家庭連合 横浜家庭教会 (3件)

障害者年記念基金寄付者

- よこはまシニアボランティアポイント登録者
- ふれあいチャリティーバザー実行委員会
- 共に生きるふれあいバザー実行委員会 代表 綱川健一

福祉基金寄付者

- 株式会社 ヴィレッジカソマタ
- NPO法人 日本國風流詩吟々舞会
- 匿名 (1件)

ヨコハマ寄付本寄付者

- 株式会社ジェイコム 湘南・神奈川横浜テレビ局 (2件)
- 日揮 株式会社
- KDDI 株式会社 南関東総支社
- 株式会社 バンテック
- MSP労組 横浜研支部
- 万里設備 株式会社
- 株式会社 高栄設備工業
- 横浜市麦田地域ケアプラザ 利用者一同
- 横浜市反町地域ケアプラザ (3件)
- 横浜市社会福祉センター 利用者一同
- ウィリング横浜 利用者一同 (2件)
- 横浜市鶴見区社会福祉協議会
- 横浜市旭区社会福祉協議会
- 神奈川区福祉保健活動拠点
- 栄区民一同 (3件)
- 倉本 靖之
- 遠藤 明子
- いつみの会
- 工藤 優
- 花
- 栗飯原 智佳子
- 須藤 敏夫
- 匿名 (18件)

みんなの声



前号の感想

特集の森さん親子の18年、ご家族の計り知れない苦労を感じます。そして制度やとりわけ地域の人々の理解が支えになるとも思っています。
(戸塚区 鈴木 孝雄さん)

周囲の人たちの理解や温かい励ましがあって森君は成長してきました。これからも壁にぶつかることがあるかもしれませんが、でも素晴らしい大勢の応援者がいることを忘れず頑張りたいです。
(青葉区 平野 英利さん)

10月1日からの「赤い羽根共同募金」毎回見かけるボランティアの皆様には毎回ご苦労様です。感謝しています。毎回ご苦労様です。
(栄区 S・T)

スポーツボランティアの活動を初めて知りました。いい情報ありがとう。
(保土ケ谷区 Y・G)

障害のある子とその家族を支えるために、横浜市にはいろいろな仕組みが用意されていることを初めて知りました。自治会員として、災害時の援護のやり方などを考えていきたいと思っています。
(都筑区 M・A)

アロハグレイスの記事を拝見させていただきました。たくさん家族が集まり大きな「オハナ(家族)」になっていく心温まる活動ですね。お母さん子どもたちも楽しんでいるのが印象的でした。
(瀬谷区 福本 武司さん)

福よこクイズ

ご応募・ご感想
お待ちしております!

地域活動支援センター【マローンおばさんの部屋】の「ハードカバーノート」プレゼント!

地域活動支援センター【マローンおばさんの部屋】は、都筑区にある精神障害者地域作業所型の施設です。

「あなたの居場所がここにはありますよ」をテーマとし、物づくりやショップ、コミュニティカフェの3部門があります。主たる作業は製本で、専門家の指導を受けつつ30余りの工程を、心を込めて手作りしています。



応募方法

はがき・FAX・Eメールにて、右記をご記入のうえお送りください。

抽選で**15名**の方に**プレゼント**を差し上げます。

締め切り：
令和2年1月31日(金) 必着

【応募先】

〒231-8482
横浜市中区桜木町1-1
横浜市社協
「福よこクイズ」係

FAX：045-201-8385

Eメール：fukuyoko@yokohamashakyo.jp

【項目】

- 1) Q1～3の答え
- 2) 郵便番号・住所
- 3) 氏名(ふりがな)
- 4) 年齢 5) 電話番号
- 6) 福祉よこはまの入手方法
- 7) 福祉よこはまの感想
- 8) 「みんなの声」次号掲載時の氏名の掲載可否(匿名希望の場合はイニシャルを記載)

【個人情報取扱】

※応募に関わる個人情報については、当選者への発送及び福祉よこはま紙面作成の参考のために利用させていただきます。



Q1 特集：12月は〇〇月間です。(漢字2文字)

Q2 福祉の仕事：榊原先生は学生に「やってあげる」ではなく、その人らしくいられることを手伝うことが〇〇、と伝えています。(漢字2文字)

Q3 市社協情報：活動に応じてもらったポイントを寄付もできるのは「よこはま〇〇〇ボランティアポイント」です。(カタカナ3文字)

前号193号の福よこクイズの答えは、Q1：後見特 Q2：障害 Q3：カグー でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

編集後記

寄付というハードルが高く感じる人も多いかもしれませんが、様々な方法で多くの人が参加している社会貢献です。皆さんが笑顔にしたいのは誰なのか、そして楽しみながらできる方法は何か、自分に合った寄付のカタチについて、まずは身近な方と話してみる機会になればと思います。

次号▶No.195 令和2年3月 発行予定

発行：社会福祉法人 横浜社会福祉協議会
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
☎045-201-2090 FAX: 045-201-8385
Eメール：fukuyoko@yokohamashakyo.jp
URL：http://www.yokohamashakyo.jp

デザイン：株式会社 オールスタッフ

「福祉よこはま」は、共同募金配分金の一部を活用して発行しています。

広告

例えば

アナタも身近な「見守りの担い手」に!

- ☆ご近所のお茶会などで契約トラブルの情報交換
- ☆消費者被害にあって困っていたら消費生活センターを案内

高齢者に多い消費者トラブル

- ①無料点検からの強引なリフォーム工事勧誘
- ②偽のウイルスセキュリティソフト
- ③インターネット接続回線の電話勧誘



横浜市消費生活総合センター

消費生活相談電話 **TEL.845-6666**
FAX.845-7720

2020年度

募集!

音声訳ボランティア入門講座受講者

「福祉よこはま」録音版を作成している横浜音声訳グループ「やまびこ」では、新しいメンバーを募集しています。「福祉よこはま」だけでなく、視覚に障害のある方のために、様々な音声訳サービスを提供する「やまびこ」の活動に参加してみませんか?

日時 2020年5月13日～7月8日(毎週水曜日、全9回、10:00～12:00)

会場 横浜市健康福祉総合センター(中区桜木町1-1)

人数 20名 **費用** 3,000円(テキスト代含む)

応募方法 yyamabiko20@gmail.comへ、住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、3月20日(金)までに送信してください。
説明会(4月15日(水) 13:00～)のご案内をお送りします。

問い合わせ 上記Emailへご連絡ください。



広告

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成31年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00～17:00(土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。